

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部	障害福祉課
施設名称	[31] 東京都台東区身体障害者生活ホームフロム千東	指定管理者	社会福祉法人 台東つばさ福祉会	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27.4.1	～ H32.3.31

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 身体障害者の福祉の増進を図り、地域社会での自立生活を促進する。
(2)	[所在地] 台東区千束3-28-13 千束保健福祉センター2階 [規模] 千束保健福祉センター内 RC造 地上7階地下2階のうち2階 延6,733.87㎡のうち2階765.53㎡ 居室11、介護人室2、食堂、浴室、洗濯室、トイレ
(3)	[委託事業] ・入居事業 ・自立生活体験事業 一定期間（1か月単位）の入居生活を体験する事業 [自主事業] ・近隣に居住する一人暮らしの在宅障害者に浴室提供を行う
(4)	[利用者] 台東区内に住所を有する身体障害者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 9名 （内訳）施設長1、生活支援員：常勤6、非常勤2

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	62,792,000	61,898,932	66,617,000	63,687,660
	利用料金収入	2,665,000	2,714,430	2,665,000	2,778,670
	その他収入（利用者外食事代・浴室提供）	302,000	106,940	302,000	34,200
	計	65,759,000	64,720,302	69,584,000	66,500,530
支出	人件費	59,859,000	59,256,517	63,613,000	61,450,384
	光熱水費	0	0	0	0
	維持管理費（委託料・賃借料）	1,396,000	1,222,843	1,542,000	1,232,979
	修繕費	460,000	448,983	500,000	92,880
	事業費	3,920,000	3,730,819	3,805,000	3,724,287
	その他支出	124,000	61,140	124,000	0
	計	65,759,000	64,720,302	69,584,000	66,500,530
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
定員（入居事業）	室	9	9	9	9
定員（自立生活体験事業）	室	2	2	2	2

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用率	%	100	99.2	98.5	100
年間延月単位利用者数	人	132	131	130	134

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況
適切な施設の維持管理とともに高い利用率を維持しながら、利用者本位のサービス提供に努めている。自立生活体験事業では、夜間見守りが必要な方の受入れを試行的に実施した。自主事業の浴室提供サービスは登録者数が減少したが、在宅の身体障害者に対する地域サービスの向上を図るため、周知を図りながら引き続き実施している。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書や実績報告等の提出が適切になされ、運営にあたっては随時区と連絡調整を行い、情報を共有している。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	身体障害者に対して地域における生活の場を提供することで、地域社会での自立生活の促進に寄与している。自主事業の浴室提供事業は登録者数が減少しているが、地域サービスの向上のため継続的に実施している。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
18 / 20 点	空調の温度設定等は、施設の性質上一定の配慮が必要であるが、施設の老朽化や不具合等については早急な区への報告と修繕工事により、適切な維持管理に努めている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	利用者が少人数であり、日々の支援の中で利用者の要望を把握し対応をしている。満足度調査という形では実施していないが、利用者を含めた全体ミーティングの実施や、日中の通所先との連携により、サービス向上に取り組んでいる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	予算要求時には区とのヒアリングにより必要経費を協議し、適正な執行及び報告が行われている。自主事業の収入は、浴室提供の登録者減により前年度比減となっており、対象者が限定的ではあるが引き続き事業の周知を図っていく必要がある。
(6) 優れた取組み 《加点点目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (94 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>入居及び体験事業の利用率は100%であり、障害者の生活の場として需要が高い。自主事業の利用者の減はあるものの、施設の適切な維持管理等により利用者の安全確保に努めるなど、適正な運営が行われている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>自主事業の浴室提供利用数の減少により、収入額が減となっている。引き続き、関係機関と連携し周知を図りながら、地域の要望に応じていく必要がある。</p>